

PAR-2/EGFR/TLR 4 における Transactivation の機序



熊本保健科学大学大学院
保健科学研究科 共同研究員

山口 類

この度は、肥後医育振興会医学研究助成金を賜り、誠にありがとうございます。ご選考いただきました諸先生方並びに振興会の関係者の皆様に深く御礼申し上げます。

私は現在熊本大学大学院生命科学研究部環境生命科学講座公衆衛生学分野と熊本保健科学大学を往復しながら研究を行っており、その中でヒト末梢血単球を GM-CSF で刺激した GM-CSF-dependent macrophages を用いた研究を行っています。感染症の合併に伴う病態の増悪やガンの進展などが知られていますが、不明な点が多く、本研究では好中球エラストラーゼ (HNE) による macrophages の IL-12p40 産生増強の機序を解明することを目的としています。HNE 遊離後に LPS で刺激を受けると IL-12p40 が著増することにより好中球増多時の治療法や手術術式の選択の一助になると思われます。現在本研究以外にも複数のプロジェクトに関わらせてもらっていますが、一つ一つの研究を丁寧にこなしつつ医学の発展に貢献できるように努力していきたいと存じます。



平成二十八年度 第二十回
外国人留学生
奨学金受賞者紹介



熊本大学大学院医学教育部
博士課程三年(細胞病理学分野)

馬 超亞

私は中国からの留学生馬超亞と申します。現在、細胞病理学分野竹屋先生のご指導の下で、免疫細胞マクロファージとガン細胞の細胞相互作用の研究を行っております。『ヒト腎癌における腫瘍関連マクロファージの役割』のテーマをとし

て、癌幹細胞が活性化するメカニズム、特に癌幹細胞とマクロファージの細胞間相互作用を研究して、新しい治療法を開発することを目標にしています。この度は、肥後医育奨学金をいただくことになり、大変ありがとうございます。皆様からの暖かいご支援のおかげで、心から厚くお礼申し上げます。今後とも精いっぱい努力を続け、微力ながら医療の発展や国際的な医学研究に貢献したいと考えております。癌の治療に関しまして、様々な治療法を開発して、患者さんの生存期間を著しく延長するために、更に治療することにも貢献したいと思っております。簡単ではございますが、改めて心から

の感謝を申し上げます。



熊本大学大学院医学教育部
研究生(乳腺・内分泌外科学分野)

伊 野 邱 什

この度は、肥後医育振興会医学研究助成金をいただき、誠にありがとうございます。関係者の皆様から厚くお礼申し上げます。

私は中国からの私費留学生邱什と申します。現在は乳腺・内分泌外科の岩瀬教授の指導下で、体細胞遺伝子変化に基づいた乳腺治療の個別化の研究を行っております。ヒト乳癌を対象として乳癌の対細胞変化を腫瘍 DNA、血液内 DNA 断片から固定する。特に ESR1、HER2、PIKCa などの乳癌に関連する遺伝子について調べてます。

今後視野を広げるため、様々な学会に参加し、その知識を医療への応用、医学発展のために、自分の力を尽くしたいと思います。また、私を育ててくれた家族にお世話になった方々に少しでも恩返しができるように。そして医学の発展のためにも、勉強にはげみ、努力して参ります。最後に、ご推薦を頂きました。乳腺・内分泌外科教授岩瀬弘敬先生にこの場を借りて、深く感謝の意を表したいと思っております。



熊本大学医学部
研究生(神経内科学分野)

張 睿

この度、肥後医育振興会医学研究助成金を賜り、誠にありがとうございます。関係者の皆様には厚く御礼申し上げます。私は中国の留学生、熊本大学医学教育部修士課程一年、張睿と申します。

現在、声帯および咽頭麻痺を伴う遠位型ミオパチー (VCPDM) のモデルマウスの作成と病態解析、また VCPDM の原因遺伝子について、変異 MATR3 の生化学的特性の解析に着目し、研究しております。VCPDM は常染色体優性遺伝形式をとり、三十歳から五十歳代に四肢の遠位の筋力低下または嚥下障害、声帯麻痺で発症するという特徴であり、また、MATR3 の mutation により、筋萎縮性側索硬化症 (ALS) と関連しています。方法としては、CAG プロモーターによりヒト変異 MATR3 を発現するコンストラクトを受精卵に遺伝子注入し、トランスジェニックマウスを用いて、臨床と筋病理学的について、解析を行っております。また、VCPDM 疾患、疾患対象の封入体筋炎 (IBM)、筋萎縮性側索硬化症 (ALS) などの臨床と筋病理にて検討を行っております。最後に、ご推薦をいただきました神経内科学分野教授安東由喜雄先生に心から感謝申し上げます。